

東洋炭素株式会社

2024年12月期第2四半期 決算説明資料

2024年8月20日

東洋炭素株式会社

2024年12月期第2四半期 決算概要

1. 2024年12月期第2四半期 業績

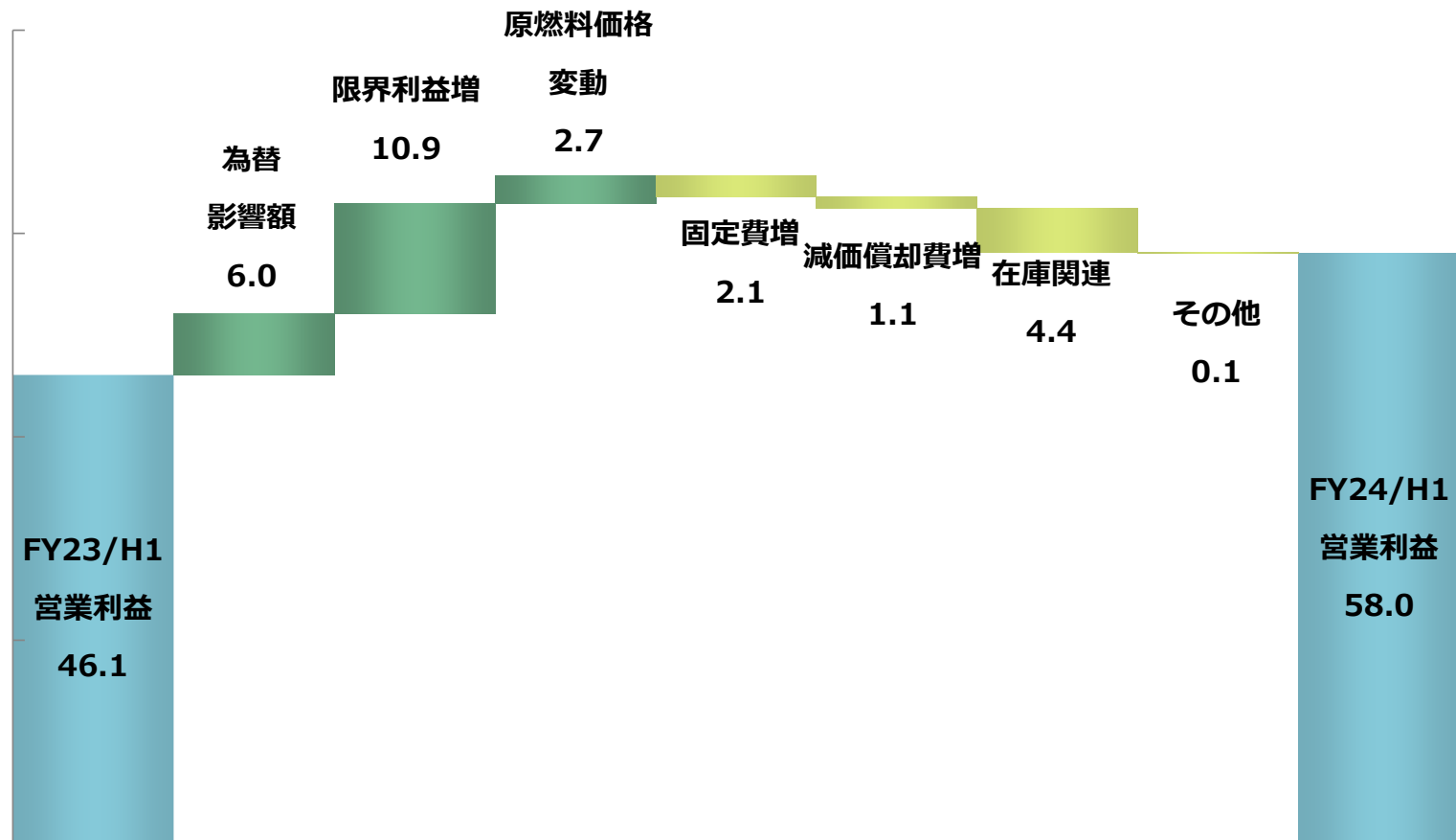
	FY2023/H1	FY2024/H1			
		(F)	(A)	前年同期比	予想比
(単位：百万円)					
売上高	23,712	25,500	26,284	+ 2,571 / + 10.8 %	+ 784 / + 3.1 %
営業利益	4,610	5,100	5,808	+ 1,197 / + 26.0 %	+ 708 / + 13.9 %
(売上高営業利益率)	19.4%	20.0%	22.1%		
経常利益	5,338	4,800	6,994	+ 1,656 / + 31.0 %	+ 2,194 / + 45.7 %
(売上高経常利益率)	22.5%	18.8%	26.6%		
親会社株主に 帰属する 中間純利益	4,128	3,500	5,156	+ 1,028 / + 24.9 %	+ 1,656 / + 47.3 %
1株当たり 中間純利益	196円85銭	166円89銭	245円89銭		
為替レート	134.8円/\$ 145.8円/€ 19.5円/人民元	135円/\$ 149円/€ 19円/人民元	152.3円/\$ 164.6円/€ 21.1円/人民元		

2. 営業利益増減要因

(2023年12月期H1 vs 2024年12月期H1)

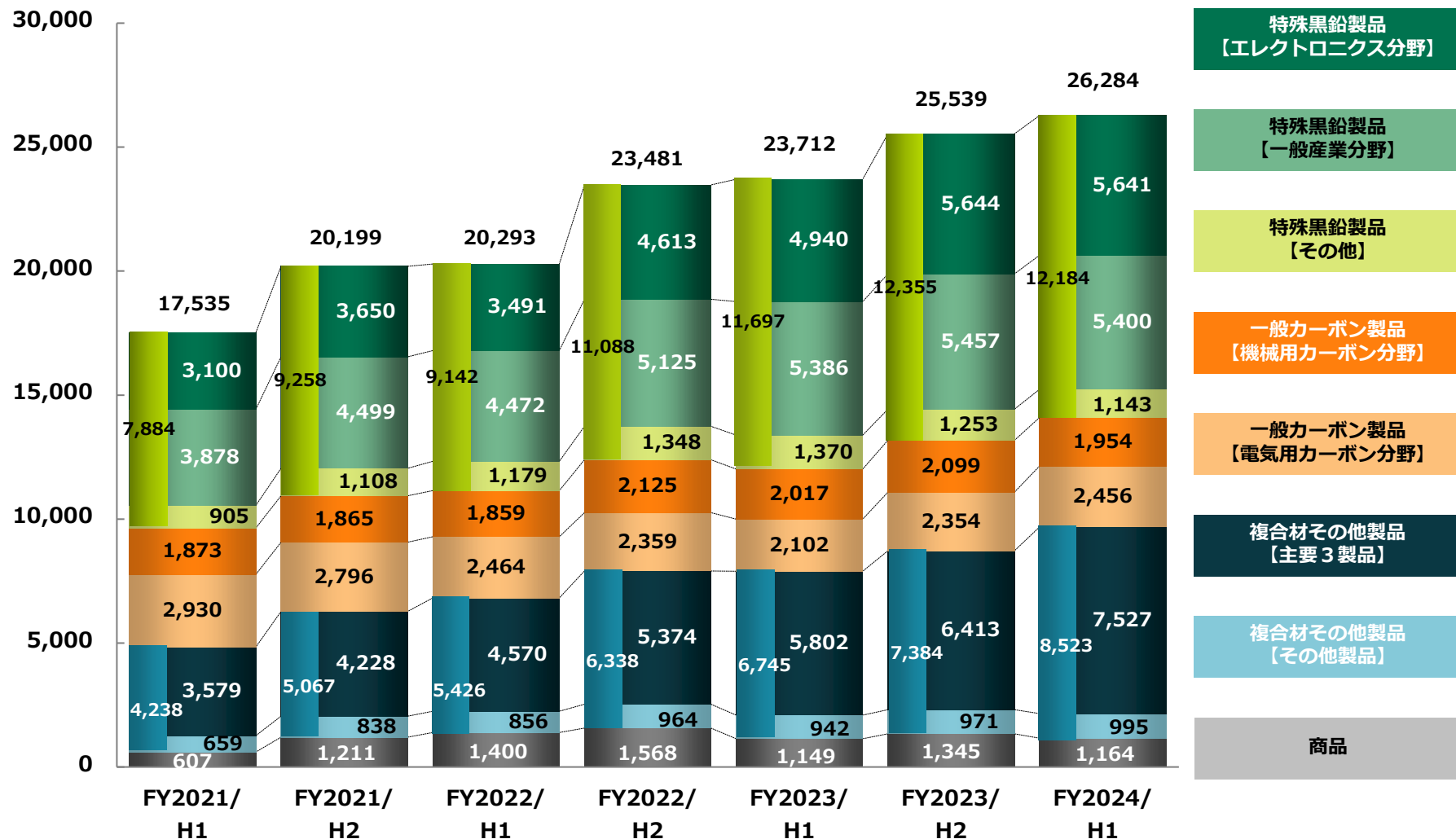
- ✓ 円安により在庫未実現利益が増加するも、販売面では為替の追い風と限界利益増（数量・製品構成・価格転嫁）により、前年同期比+26.0%の増益

(単位：億円)



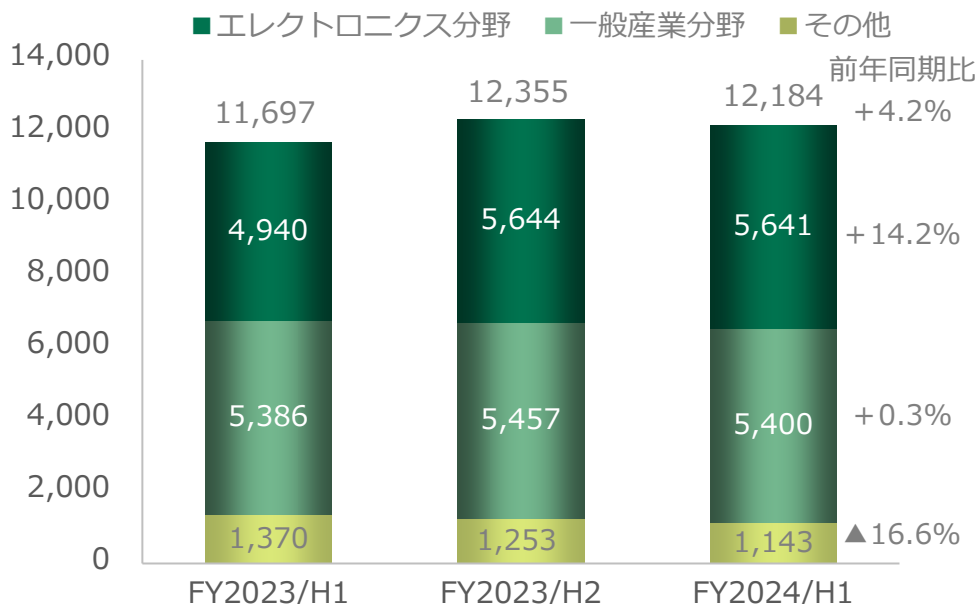
3. 製品・分野別売上高

(単位：百万円)

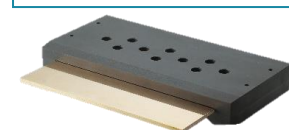


3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

(単位：百万円)



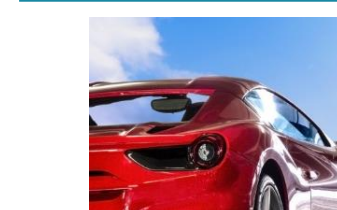
連続製造用ダイス



単結晶シリコン製造装置



SiC結晶成長部材



放電加工用電極

【エレクトロニクス分野】

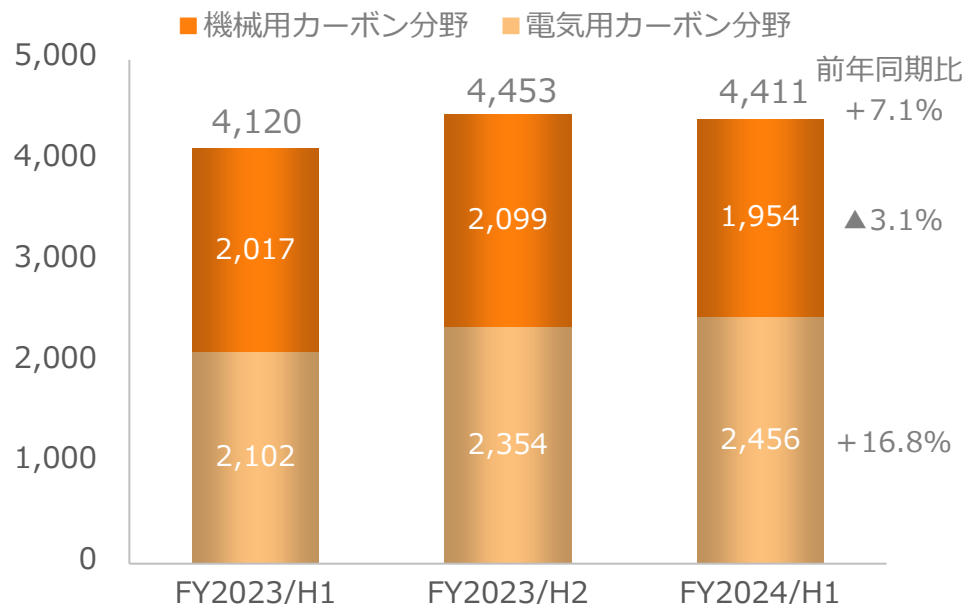
- ・単結晶シリコン製造用は、ウエハー在庫調整の影響により前年同期比微減も、想定より販売は落ち込まず、期初予想を大幅に上回る。
- ・化合物半導体製造用は、SiCウエハー向けが市場停滞の影響で期初予想を下回るも、前年同期比では大幅に増加し、過去最高売上を更新。
- ・太陽電池製造用は、選別受注によりボリューム抑制し、前年同期比減。

【一般産業分野】

- ・自動車関連産業の稼働や企業の設備投資はともに底堅く、連続製造用や工業炉用等の冶金用や放電加工電極の需要は堅調に推移し、継続して高水準を維持。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

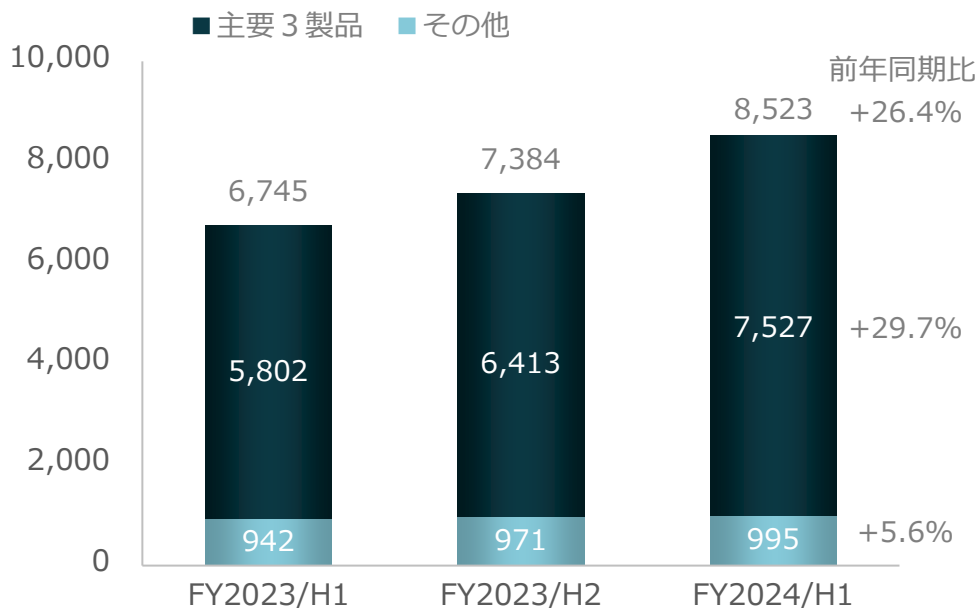
- ・ シールリングやパンタグラフ用すり板の需要堅調で、新規開拓も順調に進展。前期終了案件の剥落補い、前年同期比微減に留まる。

【電気用カーボン分野】

- ・ 家電向け小型モーター用は、顧客の在庫調整一巡により需要は緩やかながらも回復基調。
- ・ 大型モーター用は、高品質な製品と高いエンジニアリング力を活かし、風力発電をはじめとする産業機械向けの用途開拓に引き続き注力。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

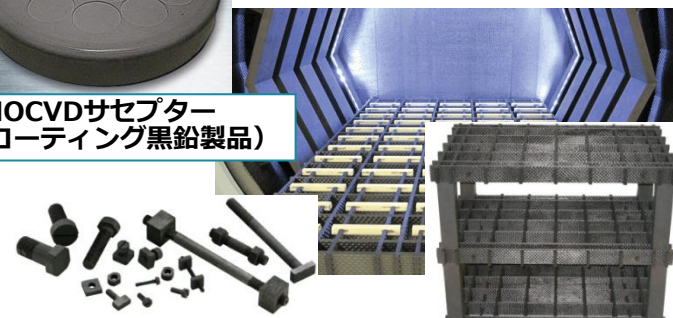
(単位：百万円)



MOCVDサセプター
(SiCコーティング黒鉛製品)



黒鉛シート製品



三段トレイ
(C/Cコンポジット製品)



ボルト・ナット
(C/Cコンポジット製品)

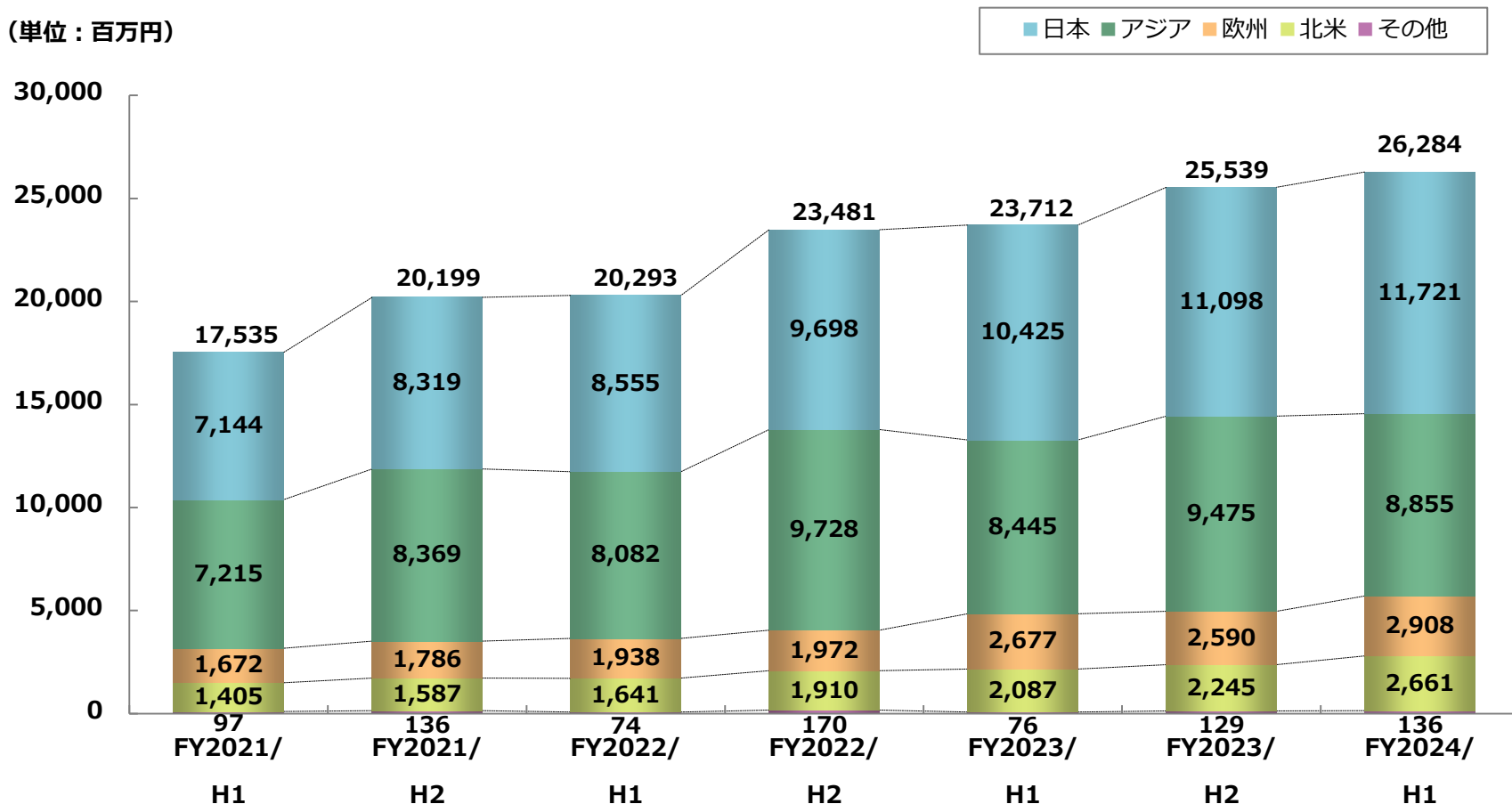
【主要3製品】

- ・ SiCコーティング黒鉛製品は、SiCエピタキシャル用途が前年同期より大幅伸長。市場調整の影響を見込んでいたSiエピタキシャル用途も底堅く、前年同期比プラスで着地。前下期に稼働開始の新装置も寄与し、同製品は過去最高売上を達成。注力製品として着実に成長。
- ・ C/Cコンポジット製品は、工業炉用が堅調で前年同期比増。
- ・ 黒鉛シート製品は、自動車用途が堅調で前年同期比増。

4. 地域別売上高

✓日本・欧州・北米は半導体用と冶金用の需要に支えられ着実に増加
アジアは一部地域の調整に加え冶金用が低調も、
電気用カーボン回復等により前年同期比ではプラスの着地

(単位：百万円)



5. 2024年12月期第2四半期

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)			連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	2023/6月末	2023/12月末	2024/6月末		FY2023/H1	FY2024/H1
資産合計	92,203	96,612	104,204	現金及び現金同等物 の期首残高	11,773	13,601
受取手形及び売掛金	16,464	17,494	18,630	現金及び現金同等物 の増減額	852	▲ 758
棚卸資産	20,939	21,806	24,448	現金及び現金同等物 の中間期末残高	12,626	12,843
有形固定資産	32,096	33,243	37,415	営業活動によるCF	2,329	4,210
負債・純資産合計	92,203	96,612	104,204	投資活動によるCF	60	▲ 3,113
有利子負債	0	0	0	財務活動によるCF	▲ 1,860	▲ 2,413
資本金	7,947	7,947	7,947			
純資産	81,131	84,524	89,736			
自己資本比率	87.9%	87.4%	86.1%			

2024年12月期業績予想

1. 2024年12月期業績予想のポイント

- ✓ 上期はほぼ計画通り順調に進捗も、欧米・中国の景気先行き懸念や各国の政策・規制が為替や産業に及ぼす影響等、不確定要素が高まっていることから、**通期業績予想・為替前提レートとも据え置き**
- ✓ 市況の変化等を受け、販売見通しは変更
製品・用途毎に増減ありながらも、**全体として期初計画の売上高を確保**

■ Si半導体用途

市場の本格回復は2025年以降となる見込みも、期初想定より需要堅調

- ・ 特殊黒鉛製品エレクトロニクス分野：Siウエハー製造部材
 - ・ 複合材SiCコーティング黒鉛製品：Siエピタキシャル装置部材
- ▶ともに期初計画より上方修正

■ SiC半導体用途

EVの伸び鈍化やウエハーメーカーの稼働低下により、高成長だった需要は一旦踊り場に

成長曲線は従前よりなだらかになるも、自動車の電装化進展やエネルギー機器での採用拡大を背景に、中長期的には依然高い成長を見込む

- ・ 特殊黒鉛製品エレクトロニクス分野：SiCウエハー製造部材
- ▶市場環境を受け、期初計画より下方修正
- ・ 複合材SiCコーティング黒鉛製品：SiCエピタキシャル装置部材
- ▶高いシェアを背景に力強い需要が継続、期初計画より上方修正

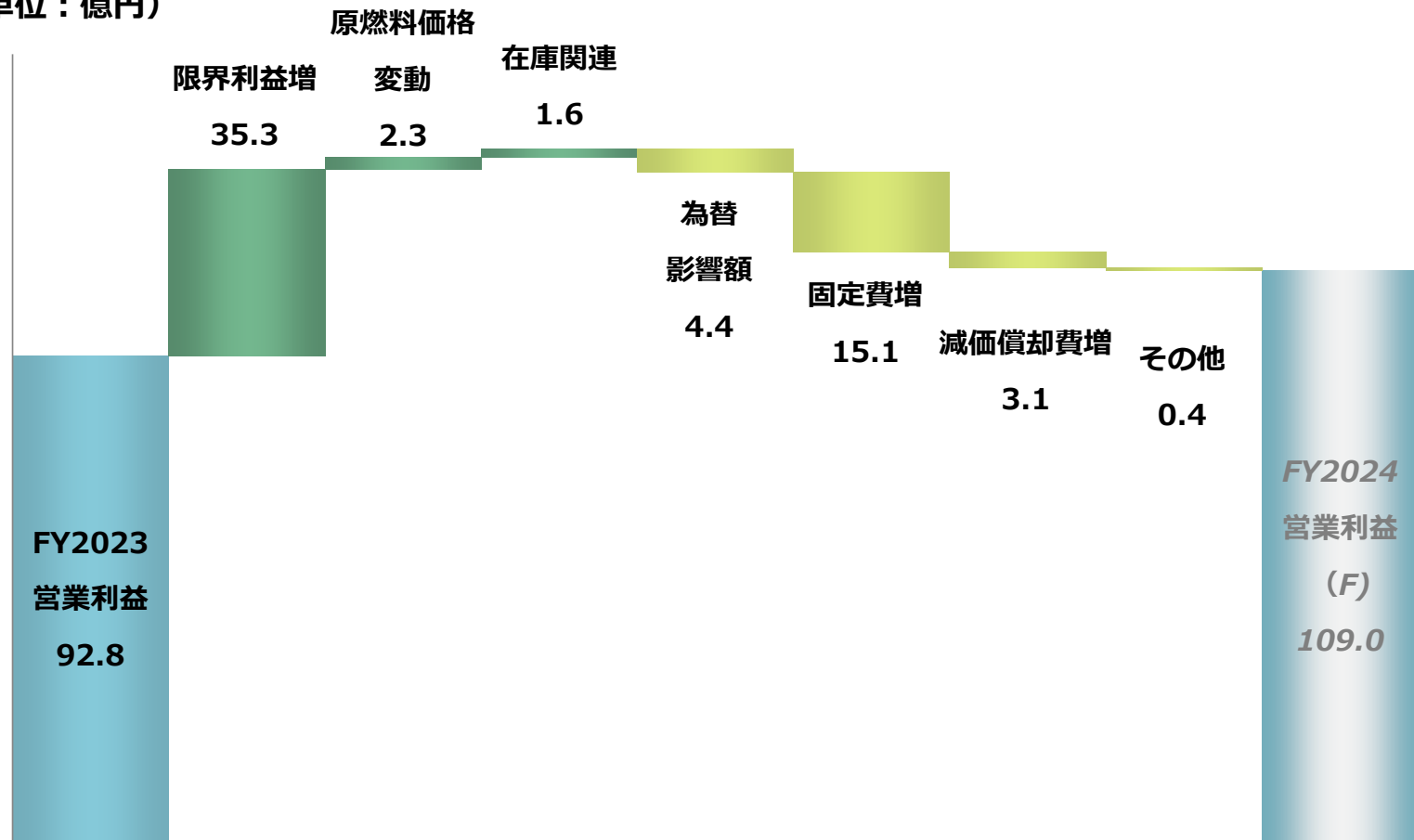
2. 2024年12月期業績予想

(単位：百万円)	FY2023			FY2024			
		内訳		(F)	内訳		前期比
売上高	49,251	H1 23,712	H2 25,539	54,000	H1 (A) 26,284	H2 (F) 27,715	+ 4,748 / + 9.6 %
営業利益	9,283	H1 4,610	H2 4,672	10,900	H1 (A) 5,808	H2 (F) 5,091	+ 1,616 / + 17.4 %
(売上高営業利益率)	18.8%			20.2%			
経常利益	10,182	H1 5,338	H2 4,844	10,500	H1 (A) 6,994	H2 (F) 3,505	+ 317 / + 3.1 %
(売上高経常利益率)	20.7%			19.4%			
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,506	H1 4,128	H2 3,377	7,600	H1 (A) 5,156	H2 (F) 2,443	+ 93 / + 1.2 %
1株当たり 当期純利益	357円91銭	H1 196円85銭	H2 161円06銭	362円38銭	H1 (A) 245円89銭	H2 (F) 116円49銭	
ROE	9.3%			8.7%			
為替レート	140.6円/\$ 152.0円/€ 19.8円/人民元			135円/\$ 149円/€ 19円/人民元			

3. 営業利益増減要因 (2023年12月期 vs 2024年12月期)

- ✓ 為替影響に加え、人件費を中心とした固定費と減価償却費等が増加も
限界利益増（数量・価格転嫁・製品構成）で+17.4%の増益

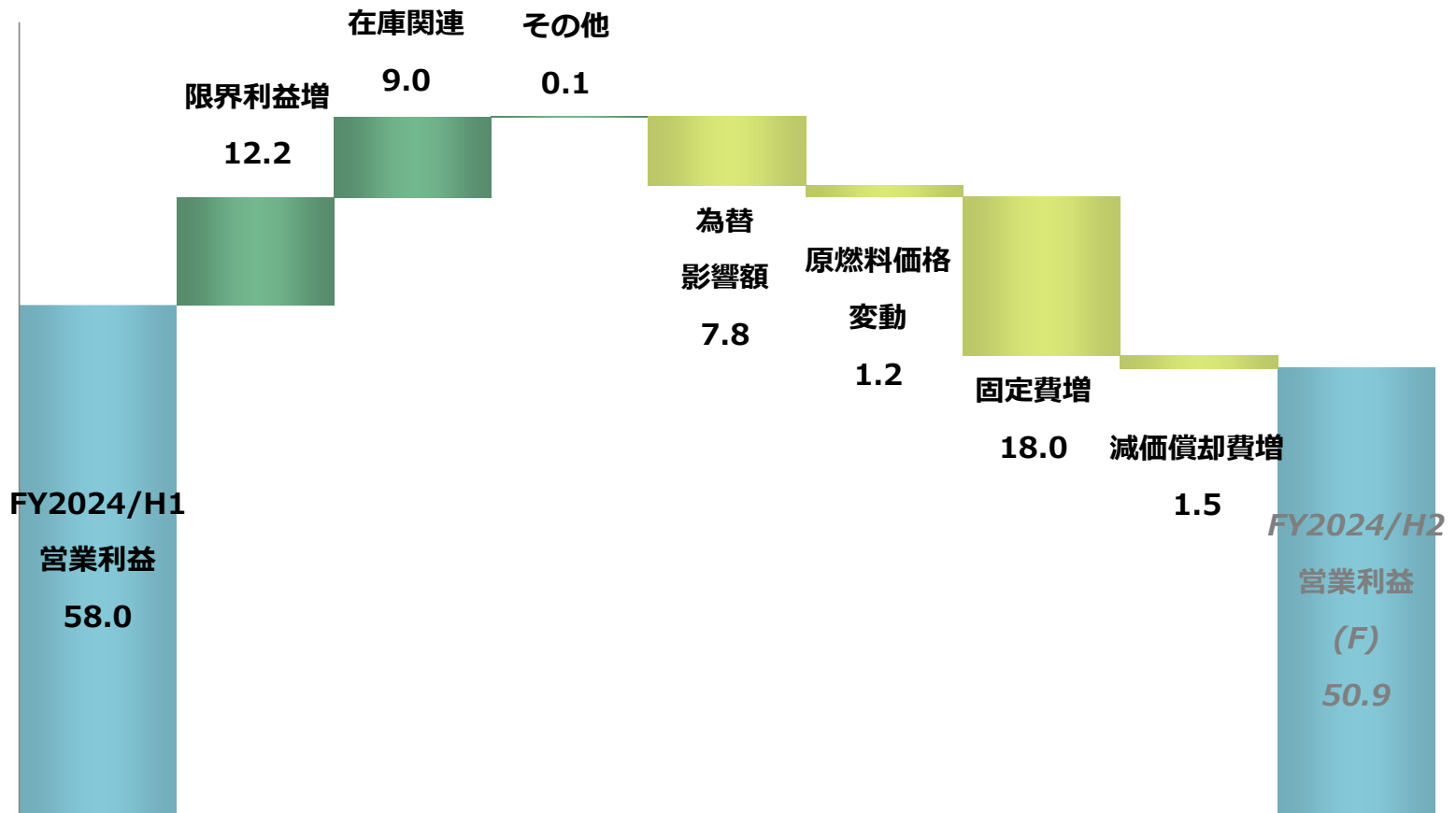
(単位：億円)



3. 営業利益増減要因 (2024年12月期H1 vs H2)

- ✓ 限界利益増加（数量・製品構成等）や在庫未実現利益の減少が寄与するも、固定費増加（人件費・製造固定費）に加え、為替前提レート据え置きの影響大

(単位：億円)



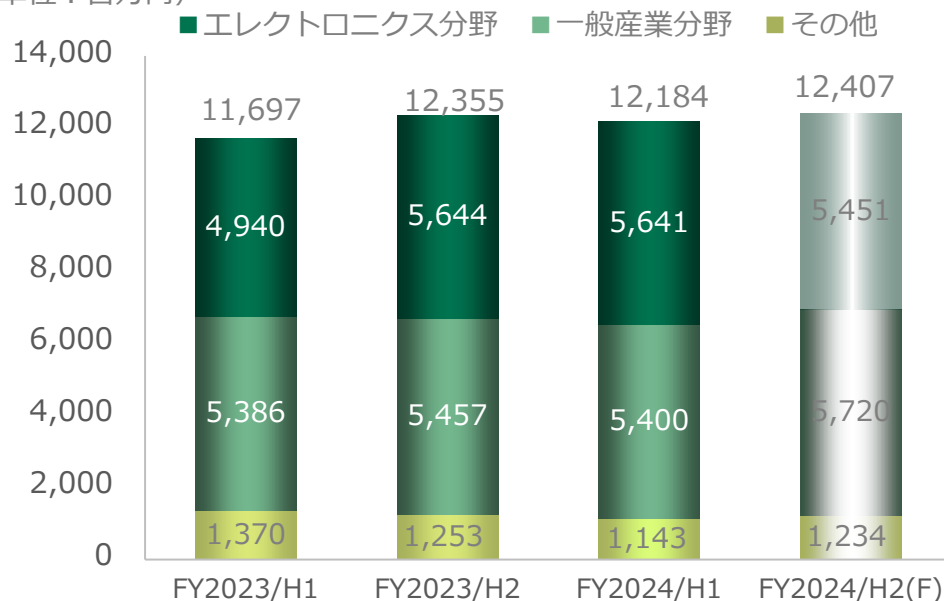
4. 製品・分野別売上高

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2023			FY2024								
	H1	H2	通期	H1	YoY	期初 予想比	H2 (F)	YoY	期初 予想比	通期 (F)	YoY	期初 予想比
特殊黒鉛製品	11,697	12,355	24,052	12,184	+4.2%	▲5.9%	12,407	+0.4%	▲13.5%	24,591	+2.2%	▲9.9%
エレクトロニクス分野	4,940	5,644	10,585	5,641	+14.2%	▲10.6%	5,451	▲3.4%	▲24.6%	11,093	+4.8%	▲18.1%
一般産業分野	5,386	5,457	10,843	5,400	+0.3%	+1.3%	5,720	+4.8%	+0.1%	11,120	+2.6%	+0.7%
その他	1,370	1,253	2,624	1,143	▲16.6%	▲12.6%	1,234	▲1.5%	▲12.3%	2,377	▲9.4%	▲12.5%
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	2,017	2,099	4,116	1,954	▲3.1%	+13.3%	2,067	▲1.5%	+15.8%	4,022	▲2.3%	+14.6%
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	2,102	2,354	4,457	2,456	+16.8%	▲2.1%	2,495	+6.0%	▲3.5%	4,951	+11.1%	▲2.8%
複合材その他製品	6,745	7,384	14,129	8,523	+26.4%	+10.5%	9,670	+31.0%	+8.9%	18,193	+28.8%	+9.7%
主要3製品	5,802	6,413	12,215	7,527	+29.7%	+11.2%	8,581	+33.8%	+10.2%	16,109	+31.9%	+10.6%
その他	942	971	1,913	995	+5.6%	+5.7%	1,088	+12.1%	▲0.3%	2,084	+8.9%	+2.5%
商品	1,149	1,345	2,494	1,164	+1.4%	+91.6%	1,075	▲20.1%	+19.8%	2,240	▲10.2%	+48.8%
合計	23,712	25,539	49,251	26,284	+10.8%	+3.1%	27,715	+8.5%	▲2.8%	54,000	+9.6%	0.0%

4. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2023			FY2024								
	H1	H2	通期	H1	YoY	期初 予想比	H2 (F)	YoY	期初 予想比	通期 (F)	YoY	期初 予想比
特殊黒鉛製品	11,697	12,355	24,052	12,184	+4.2%	▲5.9%	12,407	+0.4%	▲13.5%	24,591	+2.2%	▲9.9%
エレクトロニクス分野	4,940	5,644	10,585	5,641	+14.2%	▲10.6%	5,451	▲3.4%	▲24.6%	11,093	+4.8%	▲18.1%
一般産業分野	5,386	5,457	10,843	5,400	+0.3%	+1.3%	5,720	+4.8%	+0.1%	11,120	+2.6%	+0.7%
その他	1,370	1,253	2,624	1,143	▲16.6%	▲12.6%	1,234	▲1.5%	▲12.3%	2,377	▲9.4%	▲12.5%

(単位：百万円)



【エレクトロニクス分野】

- ・単結晶シリコン製造用は、本格的な市場回復を2025年と想定も、底堅い需要を支えに通期は期初想定より改善し、前期比の減少幅は一桁%台まで圧縮。
- ・化合物半導体製造用は、ウエハーメーカーの稼働低下やEVの伸び鈍化により期初想定より大幅ダウンも、前期比では大幅に伸長。
- ・太陽電池製造用は、選別受注継続。また顧客の稼働低下により、期初予想比・前期比とも大幅減少。

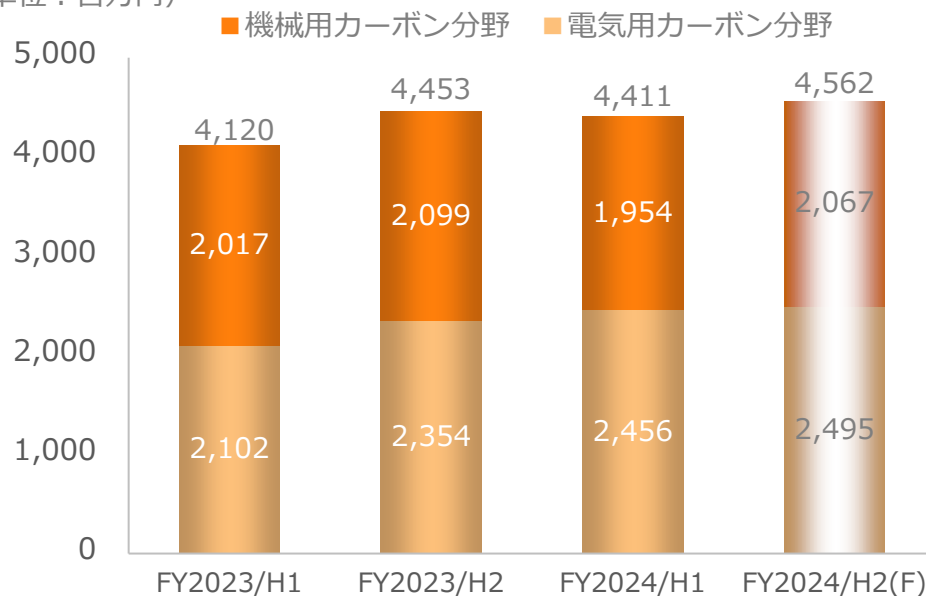
【一般産業分野】

- ・工業炉・連続鋳造用など冶金用の需要は底堅く、放電加工電極も引き続き堅調で、期初予想および前期並みの高水準が継続。

4. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2023			FY2024								
	H1	H2	通期	H1	YoY	期初 予想比	H2 (F)	YoY	期初 予想比	通期 (F)	YoY	期初 予想比
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	2,017	2,099	4,116	1,954	▲3.1%	+13.3%	2,067	▲1.5%	+15.8%	4,022	▲2.3%	+14.6%
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	2,102	2,354	4,457	2,456	+16.8%	▲2.1%	2,495	+6.0%	▲3.5%	4,951	+11.1%	▲2.8%

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

- 軸受・シールリング・パンタグラフ用すり板は、いずれも需要底堅く、新規開拓も進展し、同分野としては前期比微減に留まり、期初想定を大幅に上回る見込み。

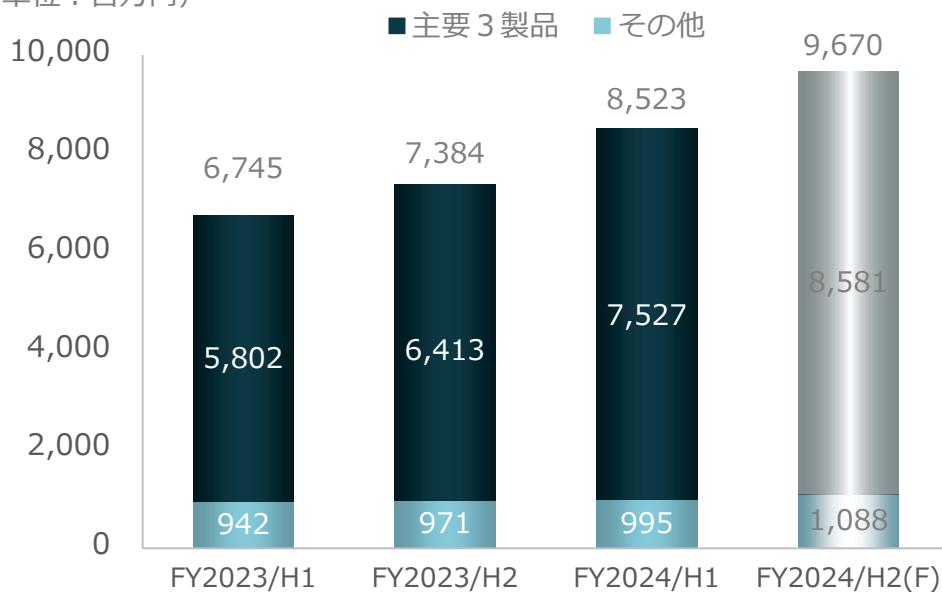
【電気用カーボン分野】

- 家電・電動工具向け小型モーター用は、緩やかな回復基調継続で前期比増。
- 産業機械向けの大型モーター用は、依然ボリューム小さいものの用途開拓は着実に進展。継続して取り組みを進める。

4. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2023			FY2024								
	H1	H2	通期	H1	YoY	期初 予想比	H2 (F)	YoY	期初 予想比	通期 (F)	YoY	期初 予想比
複合材その他製品	6,745	7,384	14,129	8,523	+26.4%	+10.5%	9,670	+31.0%	+8.9%	18,193	+28.8%	+9.7%
主要3製品	5,802	6,413	12,215	7,527	+29.7%	+11.2%	8,581	+33.8%	+10.2%	16,109	+31.9%	+10.6%
その他	942	971	1,913	995	+5.6%	+5.7%	1,088	+12.1%	▲0.3%	2,084	+8.9%	+2.5%

(単位：百万円)



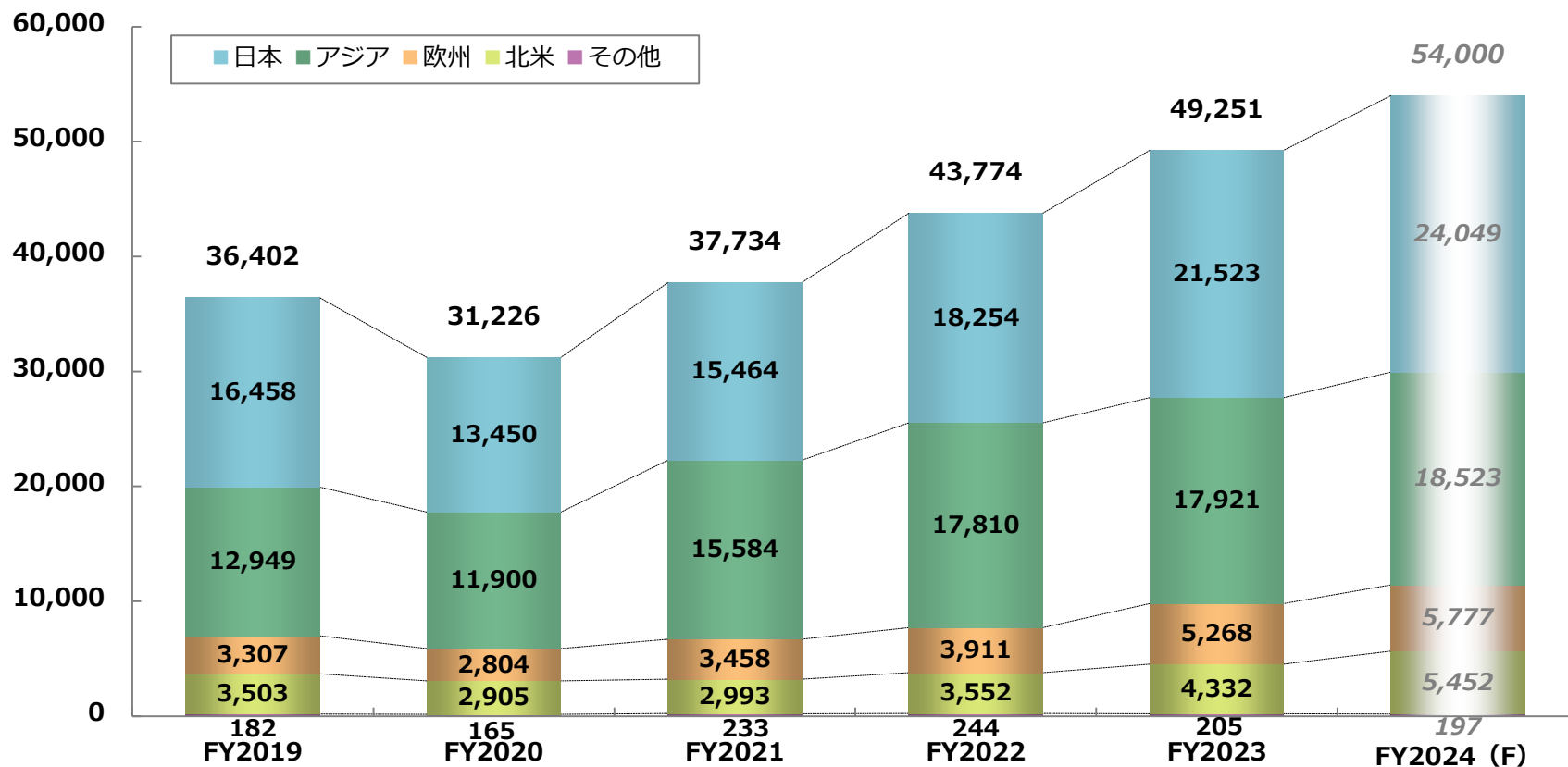
【主要3製品】

- ・ SiCコーティング黒鉛製品は、SiCエピタキシャル用途に加え、Siエピタキシャル用途の需要も期初予想を上回り、同製品は前期・期初予想より大幅増。
- ・ 2024年完成予定の増設投資は計画通り進行し、一部が今期売上に寄与。
- ・ C/Cコンポジット製品は、工業炉用をドライバーに前期に続き高水準の売り上げを見込む。
- ・ 黒鉛シート製品は、自動車用の需要が底堅く前期並みの水準を維持。

5. 地域別売上高

- ✓ 各地域とも販売は着実に増加
- ✓ 納期・品質・コストを含めた生産活動をグループ全体で適時・適切に管理し、需要動向に応じタイムリーに供給できる体制を構築

(単位：百万円)

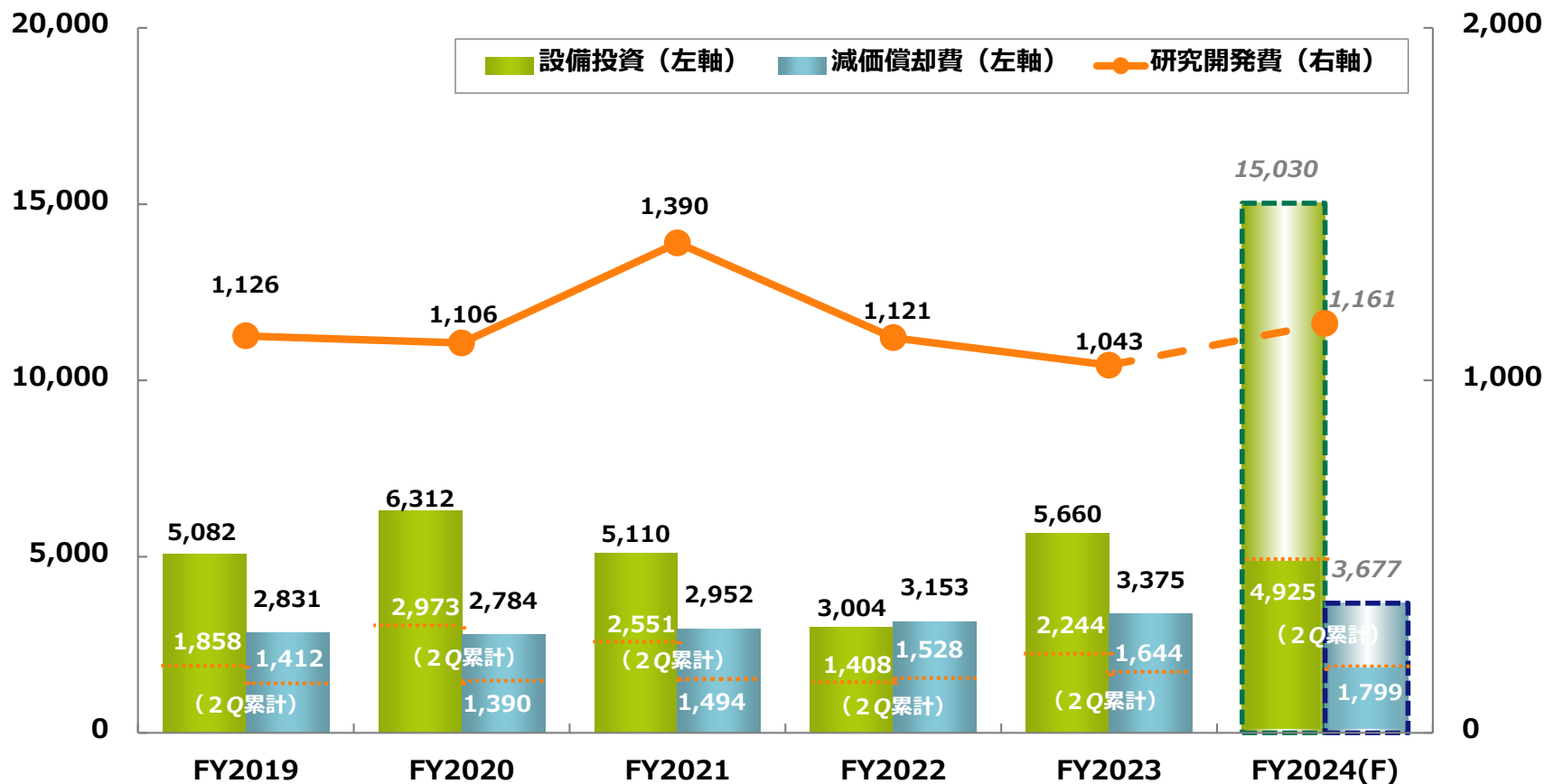


6. 設備投資・減価償却費・研究開発費

✓ 高純度化やコーティング（SiC・TaC）等の設備投資は
下期完了に向け計画通り順調に進捗

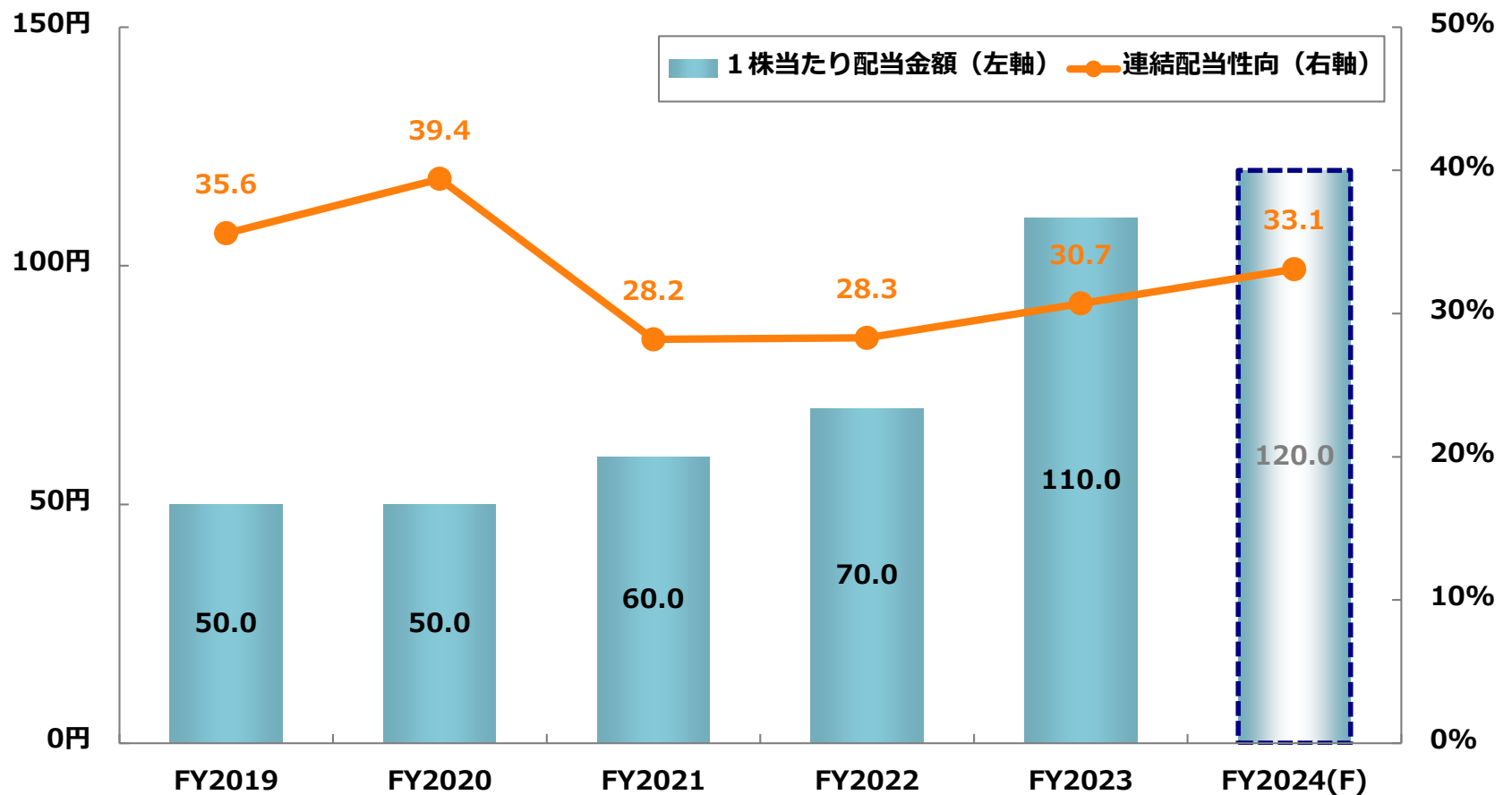
(単位：百万円)

(単位：百万円)



7. 株主還元

✓ 配当性向30%以上との方針のもと、利益成長に応じ安定した株主還元を実施



8. 次世代原子炉（高温マイクロ原子炉）向けの受注について

✓ Jimmy Energy SAS（仏）より高温マイクロ原子炉（HTR）向け黒鉛製品を受注

受注内容

高温マイクロ原子炉向け黒鉛製品一式（約数十トン）

出荷/売上時期（予定）

2026年 ※中期経営計画（2024～2028年）に織り込み済み

About Jimmy Energy SAS

- ・熱発生モジュールの設計・製造会社。2026年のモジュール稼働を目指し、製造プラントをフランスのル・クルーゾに建設する計画。
- ・HTRを搭載する同社の熱発生モジュールは、**CO₂排出の大幅削減と安価を実現**。既存の産業施設に直接接続でき、環境対策として有効なことから、**産業用ガスバーナーに代わる熱源として期待されており**、フランス政府は同社の計画に対し、3,200万ユーロの補助金支給を決定。

About HTR

- ・高温マイクロ原子炉等のHTRは、現在主流の軽水炉に比べ**安全性が高く、高熱効率で経済性に優れており**、カーボンニュートラルに貢献しうる第4世代の原子炉として注目が高まる。
- ・高温の熱供給が可能なことから、**水素製造等の多目的活用が期待されており**、次世代のエネルギー供給を担うSMR（小型モジュール炉）として、**世界各国で実用化の検討が進展**。

東洋炭素の強み

- ・公的機関等と長年にわたりHTRの共同研究を実施。**原子力用途における黒鉛材料のノウハウや照射データ等を蓄積し**、本用途における当社黒鉛材料の高い信頼性を実証。
- ・当社の等方性黒鉛材IG-110は、Jimmy社をはじめ、数々の試験炉・実証炉でも採用されており、**優れた熱的・機械的特性と耐中性子照射特性等を備えた信頼性の高い黒鉛材料**。
- ・**水面下で検討が進むHTR案件について、各所からの下相談に専任部署を立ち上げ対応中**。

HTRにおける納入実績

- ・国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 試験炉（HTTR）
- ・清華大学（中国） 試験炉（HTR-10）
- ・華能山東石島湾核電有限公司（中国） 実証炉（HTR-PM）



(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

<お問合せ先>

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 050-3097-4950(代)

E-mail : ir@toyotanso.co.jp